

その③ きりふ たき しょうがんじ 霧降りの滝・松岩寺

吉沢の山で 伝説の巨石を探せ



ぼくたちが
調べたよ!

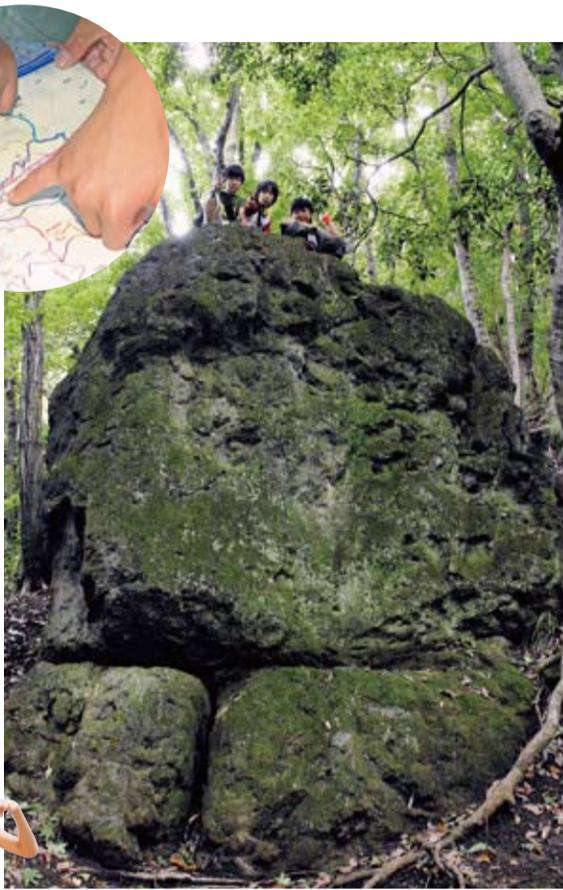
▲福永達哉さん
(旭小学校6年)

▲早川康輝さん
(金田小学校6年)

▲五十嵐将紀さん
(松が丘小学校5年)



左：長い石段がある松岩寺も探検したよ
上：石の上にいるぼくたちが分かる？
すごく大きかったよ！



○広報編集長 「君たちは吉沢の山に登って、伝説が隠された謎の巨石を探してきなさい」
○子ども記者 「そんなこと言ったらって、どこを探せばいいの？」
○広報編集長 「吉沢の松岩寺まで連れていってあげるから、そこからは自分たちの力でがんばりなさい」

「近づく霧降りの滝ってところがあるよ。」まずはその滝に行ってみよう。
しばらく畑や森の中を進むと、何やら水の流れる音が。「川だ。きつとこの近くだよ」目の前に現れたのは、大きな

岩が重なってできた滝で、霧降りの滝の石って、霧降りの滝のことだったんだね。
写真を撮って、謎解きは終了。さあ、帰ろう。「ちよつと待って。この先に立石っていつの間があるって地図に書いてあるよ。」もう少しまわってみよう。
「ここから先は深い山の中。マムシに注意」とか「イノシシ注意」とか書かれた立て札が…。
「お前が先に歩けよ」「いやだよ。お前こそ先に歩けよ」
仲良く(？)先頭を譲り合いながら先へと進みました。
もうすぐ山の頂上というところで、「立石40E」の立て札を発見。疲れも忘れて一気に進むと、とっても大きな石が木々の間に姿を現しました。「大きい！これが立石だね！」

立て札に立石の伝説が…。
「むかし、ここに里の人たちを苦しめる大蛇が住んでいました。あるとき、近くを通った日本武尊がこの話を聞き、ヤマタノオロチを退治したこともある天叢雲剣を抜いて大蛇退治に。すると大蛇はびっくりして、立石の下にもぐりこんでしまったそうです。」
これが伝説の石だったんだ。どうしてこんなところにあるのかな？ 見れば見るほど不思議な石だね。ひよつとしたら宇宙から飛んできた石なのかもじゃないね。



松岩寺(下吉沢614)
バス 平塚駅北口から南原・中沢橋経由松岩寺行きなどで「松岩寺」下車徒歩10分、大人片道310円
霧降りの滝 松岩寺から徒歩20分
立石 霧降りの滝から徒歩30分

その④ ひらつかさきゅうゆうば 平塚砂丘夕映え

海岸に輝くダイヤモンドを探せ



湘南ひらつかビーチパーク
(高浜台33-1)
バス 平塚駅南口循環「湘南海岸公園前」下車徒歩5分、大人片道170円



「ぼくたちも手伝おう」
流れ着いたものを拾って探してみただけで、ダイヤモンドは見つからない。多かったのはペットボトル。海岸はきれいにしなければと残念に思いました。
ビーチクラブのイベントが始まりました。せつかく海に来たのだから楽しんじゃえ。
「ぼくたちも参加していいですか」
ビーチ幅跳び、ビーチサンダル飛ばし、すいか割りゲーム、サーフィン体験など、特命のことはすっかり忘れていっぱい楽しみました。

平塚海岸でダイヤモンド
富士が見られるのは、9月5日〜7日(3泊)、4月4日〜6日(3泊)です。

○広報編集長 「君たちへの特命は、平塚海岸でダイヤモンドを探してこよう」
○子ども記者 「海にダイヤモンドなんかあるのかなあ？」
「海のことをよく知っている人はいいかなあ」
「ビーチセンターにライフセーバーがいるよ。なにか知っているかも」
海の監視などをしているライフセーバーを訪ねてみました。「海岸のダイヤモンドってなんのことですか分かりますか」
「つうん、なにかかな。富士山の頂上に夕日が沈むことをダイヤモンド富士っていうことがあるけど。太陽が沈んで山の向こうに消えるときキラッと光るよ」
「え、そうなの？」
夕方までビーチで過ごしたぼくたちが見たのは、キラッと光って沈むダイヤモンドのような夕日でした。



ビーチってサイコー！

